

「情報活用能力を発揮して、
自信をもって表現する子の育成」
～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で
深い学びをとおして～

令和4年度研究発表会より

京都市立第四錦林小学校
校長 長谷川 英司

学校教育目標

すべての児童の
学びの場を
豊かにする

自ら考え 判断し、
自信をもって行動する子を育てる

- 「自ら考え」 ……自分ごととしてとらえ、**多面的**に考える
- 「判断し、」 ……確かな**根拠**をもって決める
- 「自信をもって」 ……失敗を恐れず
- 「行動する」 ……果敢に**挑戦**する

GIGAスクール構想

SUSTAINABLE DEVELOPMENT  GOALS

めざす子ども像

すべての四つの
子ども像は

【知】「確かな学力」の育成

自ら学ぶ子 …自分で考え行動する子

【徳】「豊かな心」の育成

やさしい子 …人の言葉に
耳をかたむける子

【体】「健やかな体」の育成

元気な子 …心も体も健康な子

知・徳・体の調和のとれた子どもの育成

すべての取組は、この3つのめざす子ども像に関連している

育成をめざす資質・能力

すべしは四課の
子とそのたけ

- **多面的**に考える力

(比べる・関係づける)

- **根拠**に基づく判断力

(目的に立ち返って)

- **場に応じた表現力**

(話す・書く・伝え合う)

- **勇気**ある行動力

(失敗を恐れず挑戦する)

- **他者から学ぶ姿勢**

(認め合い・学び合い・支え合い)

GIGAスクール構想

「情報活用能力」を学習の基盤として

「**選択**」と「**活用**」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**

「誰一人取り残さない」

重点目標

すべての四課の
子とそのために

情報活用能力を発揮して

自信をもって表現する力

(子ども)	(教職員)
全員が発表する	話し方・聞き方, 的確な発問, 相互指名
自分の言葉で話す・書く	問題意識, 問いと答え, ノート指導
言葉以外の方法で表す	多様な表現方法の経験
場に応じた方法で伝える	メディアの特性の理解と, 相手意識をもった情報発信
相手を納得させる	根拠に基づいた情報とその伝え方

<キーワード> **個別最適な学び**と**協働的な学び**の一体的な充実

「令和の学びのスタンダード」

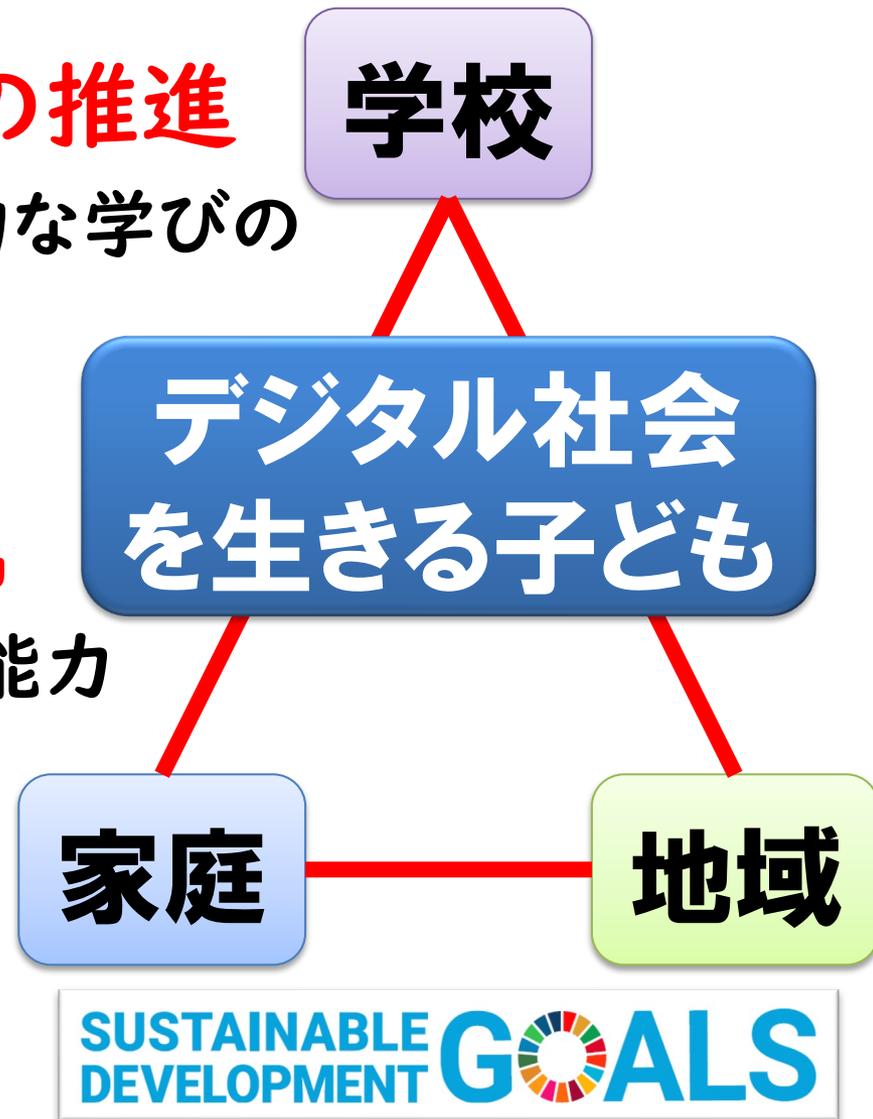
◆GIGAスクール構想の推進

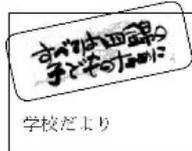
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・ 「**選択**」と「**活用**」

◆情報活用能力の育成

- ・ 学習の基盤となる資質・能力
- ・ 情報モラルの育成

デジタル社会における
資質・能力





しきん

令和3年 5月26日
京都市立第四錦林小学校
校長 長谷川 英司
GIGA スクール構想 特別版

第四錦林小学校 GIGA スクール構想の推進

～デジタル社会を生きていくための資質・能力を育成するために～

<GIGA 端末活用の目的>

GIGA 端末は、これからのデジタル社会を生きるために必要な資質・能力（「学びに向かう力」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」）の育成をめざし、子どもたちが「自ら考え判断し、自信をもって行動する」力を身に付けるために、自分から「学びとる」ツールとして活用することを目的としています。

GIGA スクール構想*により、本校にも1人1台の学習用タブレット型コンピュータ（GIGA 端末）と高速大容量の通信ネットワークが整備されました。GIGA 端末は見学1人に1台ずつ貸し出され、卒業まで使用します。校内ではすでに活用を始め、1年生も自分で端末にログインし、アサガオの成長の様子をカメラアプリで記録できるようになりました。GIGA 端末はノートや鉛筆と同じ文房具として、子どもたちの学びに必要な不可欠な学習道具となり始めています。このように GIGA スクール構想では、これまでの教育実践と ICT（情報通信技術）のベストミックスを図ることで、子どもたちの力を最大限に引き出すことを目指していきます。



今後、GIGA 端末を家庭に持ち帰って活用することも計画しています。GIGA スクール構想を推進していくためには、ご家庭の協力が必要になります。学校では別紙のとおり「GIGA 端末活用ルール」を定め、情報活用能力の育成を進めています。ご家庭におきましても、このルールを共有していただき、子どもたちが GIGA 端末を活用して適切に学習が進められますようご協力をお願いします。また、日常生活においてもデジタル機器やインターネットを健全に利用する善き使い手になれますよう、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育てていくことに、ご支援とご協力をお願いいたします。

*GIGA=Global and Innovation Gateway for All オブすべての子どもに個別最適化され、グローバルで創造性を育む学びを実現する構想



<GIGA スクール構想で変わる四錦の学び>

自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる

学校は

- <「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善>
 - ・子どもたちの一人一人の反応を踏まえた双方向型の一斉学習
 - ・一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習（個別最適な学び）
 - ・各自の考えを即時に共有し多様な意見にも即時に触れられる学習（協働的な学び）
 - ・ロイノート・スクール、MS365、デジタルドリルなどの活用
- <クラウドを利用した学校一家の連携>
 - ・非常時におけるオンライン授業、オンライン懇談など
 - ・クラウドやメール配信システムを活用した緊急連絡、アンケートなど

デジタル社会を生きる子どもに

<育成をめざす資質・能力>

- ・多面的に考える力（比べる・関係づける）
- ・根拠に基づく判断力（目的に立ち返って）
- ・場に応じた表現力（簡潔に話す・聞く）
- ・勇気ある行動力（失敗を恐れず挑戦する）
- ・他者から学ぶ姿勢（認め合い・まなびあい・支え合い）
- <重視する情報活用能力>
 - ・自信を持って表現する力
 - ・責任をもって適切に情報を扱おうとする態度



GIGA 端末を文房具として自らの学習に活用する子どもへ

家庭への協力

- ・基本的な生活習慣の定着
- ・家庭学習の習慣化
- ・GIGA 端末の持ち帰り利用（GIGA 端末活用ルールの共通理解）
- ・日常のデジタル機器やネットの健全利用
- ・PTA 活動

地域との連携・協働

- ・見まもり隊の安全・安心活動
- ・読み聞かせ活動（おはなしわくわく）
- ・地域の先生（剣鋒・和太鼓・茶道・ビオトープ・栽培活動・京都大学など）
- ・幼児や高齢者との交流（社協）
- ・サタデースクール（各種団体）
- ・国際交流（世界の和輪話・みずき寮）

第四錦林小学校「GIGA端末活用ルール」

「タブレットPC (GIGA端末) は、私たちの学習道具」
～えんぴつやノートと同じ文ぼうぐとして～

よき学び手になるために

1. **学習のため**に使います。
2. **時間と場所**をきめて使います。

こまったときは、
立ち止まる・考える・そーだんする



よき使い手になるために

3. **健康**に気をつけて使います。
4. **安全**に気をつけて使います。
5. 学校のルールにそって使います。
6. 社会のルールにそって使います。

デジタル機器やインターネットを使うときのやくそく

- ★デジタル機器やインターネットを**使わない時間**
- ★デジタル機器やインターネットを**使わない場所**
- ★**夜寝るとき**, デジタル機器やインターネットを**置いておく場所**

第四錦林小学校「GIGA 端末活用ルール」
「タブレット PC (GIGA 端末) は、私たちの学習道具」
～えんぴつやノートと同じ文ぼうぐとして～

冬休みは、GIGA 端末を家に持ち帰り、家庭学習で使います。充電や片づけは、自分でしましょう。また、いつでも使えるからこそ、けじめなく使わないように、GIGA 端末を使う「目的」や「時間」や「場所」を決め、計画を立てて学習を進めていくことが大切です。

冬休みの GIGA 端末活用をとおして、次の 2 つの姿をめざしましょう！

- ★GIGA 端末を自ら学びとる道具として活用するよき学び手になる。
- ★健康・安全を守るルールを知り、GIGA 端末のよき使い手になる。

よき学び手になるために

1. 学習のために使います。

- ◆ 自分で「学びとる」の学習の道具として使います。
- ◆ 学習の計画に合わせて使います。



2. 時間と場所をきめて使います。

- ◆ GIGA 端末を 使う(使わない)時間 をきめましょう。
- ◆ GIGA 端末を 使う(使わない)場所 をきめましょう。
- ◆ GIGA 端末を しまっておく場所 をきめましょう。

よき使い手になるために

3. 健康に気をつけて使います。

- ◆ 30分に1回は、20秒ほど目を休ませます。
- ◆ 目と GIGA 端末の間を 30cm 以上はなします。
- ◆ 画面の角度や明るさを調整します。

4. 安全に気をつけて使います。

- ◆ 持ち運ぶときは、両手で持ちます。
- ◆ 食べ物や水気のあるところでは使いません。
- ◆ 自分の家から外へは持ち出して使いません。

こまったときは、
★ 立ち止まる
★ 考える
★ そうだんする



5. 学校のルールにそって使います。

- ◆ GIGA 端末の使用記録やインターネットの接続記録はすべて残ります。
- ◆ 学習に関係のないサイトは見ません。
- ◆ Microsoft Teams やロイロノート・スクールで、学習と関係のない投稿や、人をきずつけ、いやな思いをさせる書き込みはぜったいにしません。
- ◆ 友だちに貸したり借りたりしません。
- ◆ インターネットであやしいサイトに入ってしまったときは、おうちの人知らせます。

6. 社会のルールにそって使います。

- ◆ ID (アイディー) や PW (パスワード) は自分だけのものです。人に教えません。
- ◆ 個人情報 (名前、住所、電話番号など) は書き込みません。
- ◆ 写真や動画を撮影するときは、必ず相手に許可をもらいます。
- ◆ 撮った写真や動画でいたずらしたり、いやな気持ちにさせたりしません。
- ◆ インターネットで発信したことは、他の人から見られています。
- ◆ 一度送信したものは簡単に消すことができません。受け取った相手はどう感じるか、よく考えてから送りましょう。
- ◆ インターネットの情報には、著作権や肖像権等があります。他のものに載せてよいか必ず先生やおうちの人に確認し、手続きをします。
- ◆ 先生の許可なく、画像や動画のダウンロード、アップロードはしてはいけません。
- ◆ 新しいソフトやアプリのインストールはできません。

◎困ったときはすぐにおうちの人に知らせましょう。

◎つぎのことをおうちの人と話し合ってください。

デジタル機器やインターネットを利用するときのやくそく

★デジタル機器やインターネットを使わない時間

★デジタル機器やインターネットを使わない場所

★夜寝るとき、デジタル機器やインターネットを置いておく場所

★わがやのやくそく

研究主題

情報活用能力を発揮して、 自信をもって表現する子の育成

～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをとおして～

～R2年

生徒指導3機能

まずは、積極的に
GIGA端末を使おう

R3年（1年次）

表現力の育成を目指して
（情報活用能力の育成）

- 目指す姿を設定して
系統立てて取り組んでみよう。
- 研究の基盤は、学級経営
研究の目的は、授業改善

R4年（2年次）

情報活用能力を発揮して、
自信をもって表現する子の育成

～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをめざす授業改善～

今年度の 取り組み内容

- GIGA端末を文房具にするための環境整備
- 「目指す姿」を設定して
関連单元をつないでいく関連单元配列表
- 「つなぐ」を意識した研究の記録について
- 公開授業と研究協議会
- 夏休み自由研究と自由研究発表会
- 学習発表会
- デジタルシチズンシップ授業公開

学年末に目指す児童の姿

■基本的な操作

6年：選択できる力・共同編集

5年：Word・共同編集

4年：PowerPointでのプレゼンテーション・フォルダへの保存

3年：ロイロノートでのプレゼンテーション・ローマ字入力

2年：ロイロノートで送信や提出

1年：ログイン・写真撮影

■情報活用能力

6年：合意形成のために最適な方法を選択する。

5年：ふせんやロイロノートなどを使って思考を表現し、
異なる意見を整理したり話し合ったりする。

4年：ふせんを使っての交流・シンキングツールを活用して異なる意見を整理する。

3年：ふせんを使って表現した考えを交流する。

2年：ふせんやカードを使って表現し自分の考えを整理する。

1年：自分の考えを記録する。

GIGA端末の「基本的な操作等」指導計画例

令和3年3月 学校指導課

【記号の説明】 一:操作を体験する学年, ○:操作を習得する学年

基本的な操作等		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年 (中1)	8年 (中2)	9年 (中3)
基本操作	電源を入れ、ID・PWでサインインする。	○								
	アプリ等を終了し、シャットダウンする。	○								
	タップによる操作をする。	○								
	マウスやタッチパッドによる操作をする。	→	→	→	○					
	「ロイノート」等で、指やタッチペンで文字や絵をかく。	→	○							
	五十音順ソフトキーボードで文字入力を行う。	→	○							
	タイピングソフト等を使って、キーボードによる文字入力(ローマ字入力)を行う。			→	○					
	10分間で300字程度の文字入力(ローマ字入力)を行う。				→	→	○			
10分間で400字以上の文字入力(ローマ字入力)を行う。							→	→	→	
記録と編集	「ロイノート」等のカメラ機能を使って、写真、音声、動画を記録する。	→	○							
	「ロイノート」等を使って写真等の編集や記録を行う。	→	→	→	○					
ファイル等の管理	目的に応じてWindowsの「カメラ」、「フォト」、「ビデオエディター」等のアプリを選択し、編集や記録を行う。			→	→	→	○			
	目的に応じてWindowsの「PowerPoint」、「Word」、「Excel」等のアプリを選択し、意図した編集や記録を行う。				→	→	→	→	→	○
	「ロイノート」の「ノート」や「カード」の取り出しや提出、保存を行う。	→	○							
	「ロイノート」の「マイフォルダ」等の管理を行う。		→	→	○					
	「ダウンロードフォルダ」や「OneDrive」等のフォルダで、ファイルの呼び出しと保存をする。			→	○					
	フォルダ内のファイル等をキーワード検索する。				→	→	○			
	「ダウンロードフォルダ」や「OneDrive」等の自分のフォルダの管理を行う。				→	→	○			
	「ロイノート」や「Teams」等を使って、ファイルの送受信を行う。				→	→	○			
Web検索	「ロイノート」や「Teams」等を使って、共同作業を行う。				→	→	○			
	ファイルの圧縮、暗号化、バックアップをして、管理する。							→	→	○
	「YAHOO! きっず」等のキッズ用検索サイトでタップして、調べる。	→	○							
	キッズ用検索サイトで五十音順ソフトキーボードを使ってキーワード検索をする。	→	○							
	ホームページの「お気に入り登録」をする。	→	→	→	○					
	検索サイトでキーワード検索をする。			→	○					
オンライン学習	複数のキーワードや条件を工夫して検索する。			→	→	→	○			
	目的に応じた検索サービスやデータベース等を使い分ける。							→	→	○
	「Zoom」や「Teams」等のコミュニケーション活動を体験する。	→	○							
	「Zoom」や「Teams」等のコミュニケーション活動に主体的に参加する。			→	○					
オンライン学習	参加方法の選択や、音量・背景等の調整をしながら、コミュニケーション活動に参加する。			→	→	→	○			
	資料等を活用して、コミュニケーション活動に参加する。					→	○			

上記は、「令和3年度 情報活用能力アドバンスシート」を基に、GIGA端末の基本的な操作等の習得に向け、指導する学年のステップを示したものです。学校の実態に合わせて、該当学年を適宜変更するなどして、活用してください。
また、小中9年間を見通したものとなるよう、中学校ブロックで相談・連携してください。

「つなぐ」を意識した研究の記録

GIGA端末の「基本的な操作等」指導計画例 (学校指導課)

夏休みの自由研究 & 自由研究発表会

保護者向けのプリントを作成し、自由研究のイメージを共有

話し方・見せ方について指導し、ふりかえりアンケートを行った。

夏休みの自由研究

夏休みは自分の興味・関心に向かって思うままに時間を使えるまたないチャンスです。自分の大好きなことに取り組んだ記録を、自由研究という形ですましましょう。また、2学期には子どもたち同士が見合う自由研究発表を行い、がんばって取り組んだことを友だち同士で認め合ひましょう。

1 夏休みに入るまでに 自由研究のテーマを決めよう

- ① テーマ (何について?)
- ② きっかけ (なぜ?)
- ③ 予想 (ゴールは?)
- ④ 計画 (どのように進めるの? 道具は必要? どれくらいの日数がかかるの?)

2 夏休み 自由研究に取り組み まとめよう

やってみよう

観察 実験

調べ学習

工作

絵画

実験・観察の経過や結果、調査・体験した場所や取材相手、工作・絵画の制作過程などは、写真や動画で撮影しておく、まともな発表したりするときに役立ちます。

まとめよう

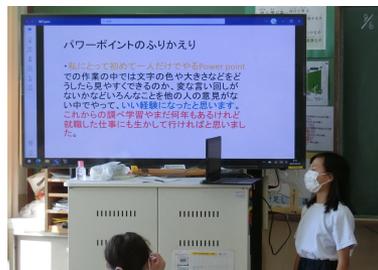


GIGA 端末を活用してまともな発表が出来ます。

- 観察・実験系のまともな発表 (ポスター・観察日記・アルバムなど)
 - ①研究のきっかけ ②予想 ③準備物 ④実験方法 ⑤実験結果 ⑥分かったこと ⑦参考にしたもの
- 体験レポート・調べ学習レポートのまともな発表 (ポスター・新聞・報告文・アルバムなど)
 - ①研究のきっかけ ②予想 ③準備物 ④調べ方 ⑤分かったこと ⑥感想・気づき ⑦参考にしたもの
- 工作・絵画のまともな発表 (自由研究発表会で報告するので、項目をメモしておくとうい)
 - ①制作のきっかけ ②用意したもの ③作り方 ④工夫したところ・苦戦したところ ⑤感想・気づき ⑥参考にしたもの

3 2学期 自由研究発表を行い がんばりを認め合おう

夏休みに実施した自由研究は、クラスで発表を行います。ポスターや新聞などにまとめたものを見せたり、工作などは実物を見せたりと分かりやすい発表になります。発表の内容や発表の仕方についてお互いに評価しあい、自分たちのがんばりを実現し認め合ひましょう。

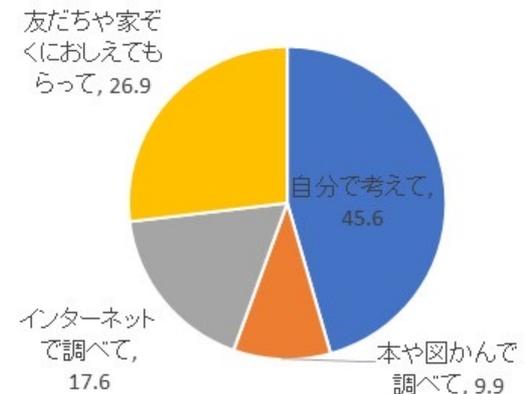


児童が自ら学びたいと考えたことに向かい合い、生き生きと表現できるようにする。

1. 自由研究アンケートによる自己評価から

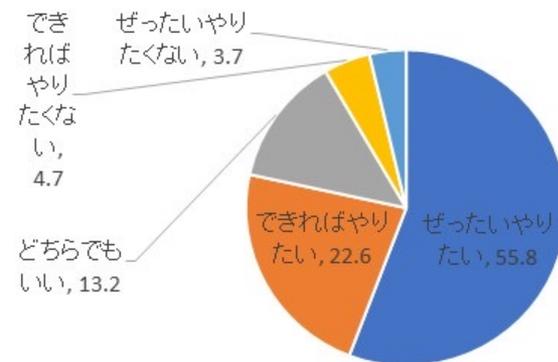
【5】自由研究の内容はどのようにして決めましたか。

- **自分で考えて** **45.6%**
- 本や図かんで調べて 9.9%
- インターネットで調べて 17.6%
- **友だちや家ぞくにおしえてもらって26.9%**



【9】これからも自由研究に取り組みたいですか。

- **ぜったいやりたい** **55.8%**
- できればやりたい 22.6%
- どちらでもいい 13.2%
- できればやりたくない 4.7%
- ぜったいやりたくない 3.7%



発表の「話し方」「見せ方」（全学年規準）

（成果）

- 「です。ます。」など基本的な話し方は低学年から意識できている。
- 実物や大型TVなどを通して「見せて話す」意識はできている。

（課題）

- 評価の観点ごとのばらつきは大きい。
- モデルとなる「話し方」「見せ方」を十分に知らない。
- 評価の観点を決めて「話し方」「見せ方」の評価活動を増やしていく。
- 内容の評価に加え、方法の評価も重要。
- 聞き方の力も同時に高めていく必要がある。

デジタルシチズンシップ 授業公開

デジタル・シティズンシップ
は、善き使い手としてデジタル・テクノロジーをポジティブに活用し、子どもたちの自律と問題解決を促します。



STEAMライブラリー-未来の教室-の教材を活用

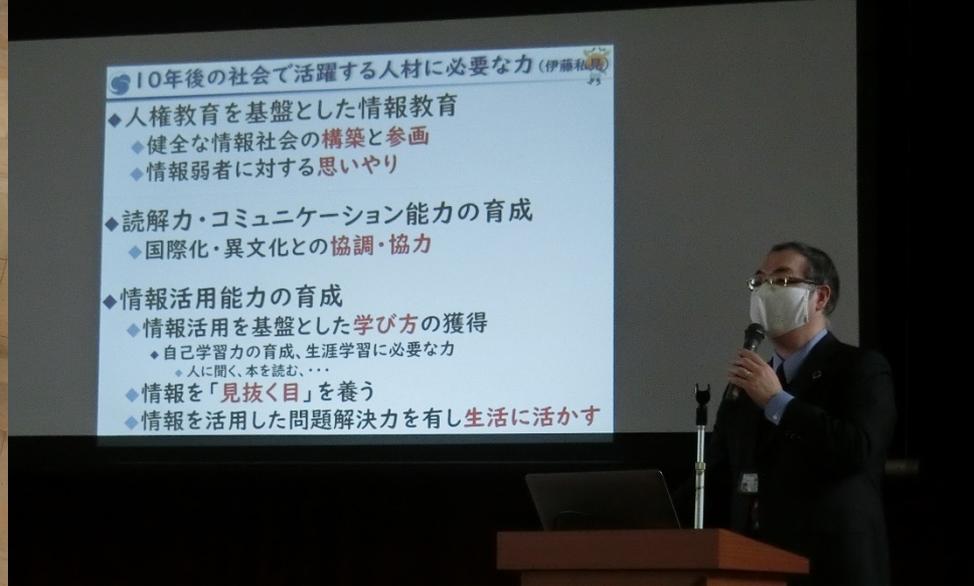
The screenshot shows the STEAM Library website interface. At the top left is the logo for STEAM Library. To its right is a navigation bar with a button labeled '教員の皆様はこちら' (For all teachers) and a search bar containing the text 'キーワードで検索：例 SDGs'. The search bar includes a 'Search' button and links for 'テーマ一覧' (Theme list), 'レクチャー一覧' (Lecture list), '実践事例一覧' (Practice examples list), 'ログイン' (Login), and '新規登録' (New registration). Below the search bar, the main content area features a featured article titled 'GIGAスクール時代のテクノロジーとメディア～デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化' (Technology and Media in the GIGA School Era ~ Considering Creative Activities and Socialization of Learning from Digital Citizenship). The article includes an illustration of three children and a list of bullet points: 'GIGA スクール時代のテクノロジーとメディア' and 'デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化'. To the right of the article, it states 'コンテンツ提供：国際大学GLOCOM × NEP' and provides contact information for GLOCOM and NEP. Below this, there are filters for 'SDGs' (with icons for 3, 4, 5, 10, and 17) and '学年' (Grade level) with buttons for '小1～3', '小4～6', '中学', and '高校'.

**指導案・指導資料
(動画・ワークシート) を
活用することで、
短時間で授業準備が可能**

**計画的に実施することで
効果が高まる**

今後の課題
や
研究の方向
性

- 『「自信をもって表現する力」の育成をめざす学習活動を探る』ために、実践と協議を重ねる。
- 「表現力」を軸にした情報活用能力育成表と**評価指標**を作成し、それをもとにカリキュラム・マネジメントを行う。



- 10年後の社会で活躍する人材に必要な力 (伊藤和典)
- ◆ 人権教育を基盤とした情報教育
 - ◆ 健全な情報社会の構築と参画
 - ◆ 情報弱者に対する思いやり
 - ◆ 読解力・コミュニケーション能力の育成
 - ◆ 国際化・異文化との協調・協力
 - ◆ 情報活用能力の育成
 - ◆ 情報活用を基盤とした学び方の獲得
 - ◆ 自己学習力の育成、生涯学習に必要な力
 - ◆ 人に聞く、本を読む、...
 - ◆ 情報を「見抜く目」を養う
 - ◆ 情報を活用した問題解決力を有し生活に活かす

研究発表会 (2月7日)

【2年】国語科

だいじなことばに気を付けて読み、わかったことを知らせよう『おにごっこ』

情報活用能力・情報の収集

○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるようにする。

(第8時)

文章の中から抜き出す
重要な語や文を考える

児童の考えをもとに
ワークシートを作る

(第9時・第10時)

いろいろな図書の中から
必要な情報を**選び出す**

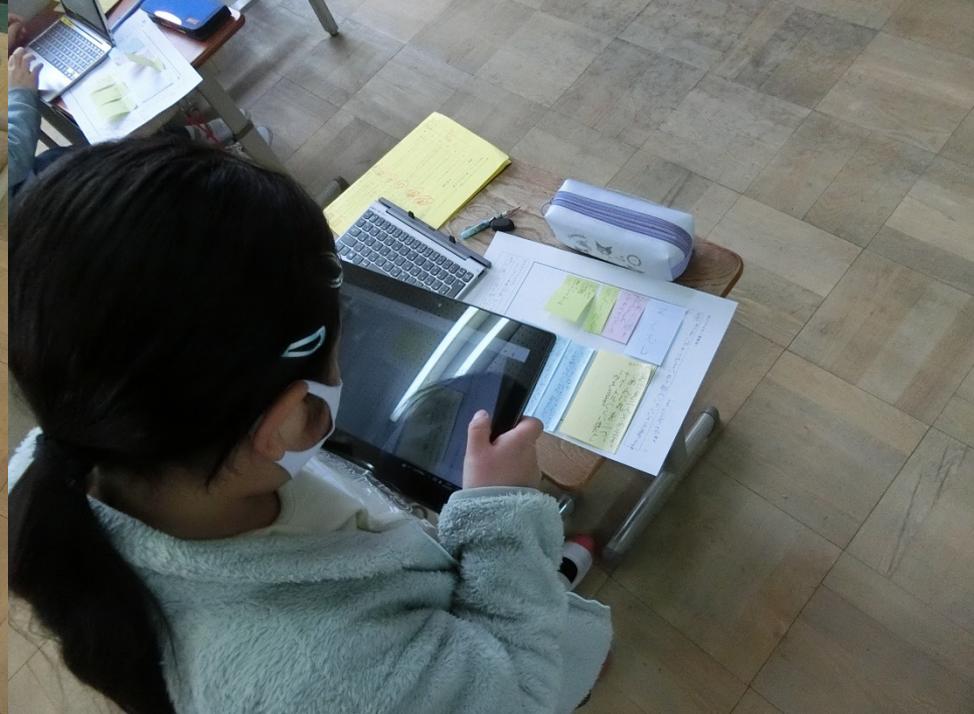
付箋を使って調べた情報を整理する

【本時】

相手に伝わるように
情報を精選し、
順序を考える

単元の重点目標

◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにする。



(2年)相手に伝わるように情報を精選し、順序を考える。

【3年】国語科

つたえたいことを、理由をあげて話そう 『わたしたちの学校じまん』

○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。(知・技(2)ア)

情報の整理分析⇒⇒思考ツール「クラゲチャート」を指導

(第3時【本時】)

思考ツールを使って、考えとそれを支える理由や事例を考える。

(協同して考えを広げる)

(第4時)

思考ツールを使って、情報を精選する。

(協同して考えをまとめる)

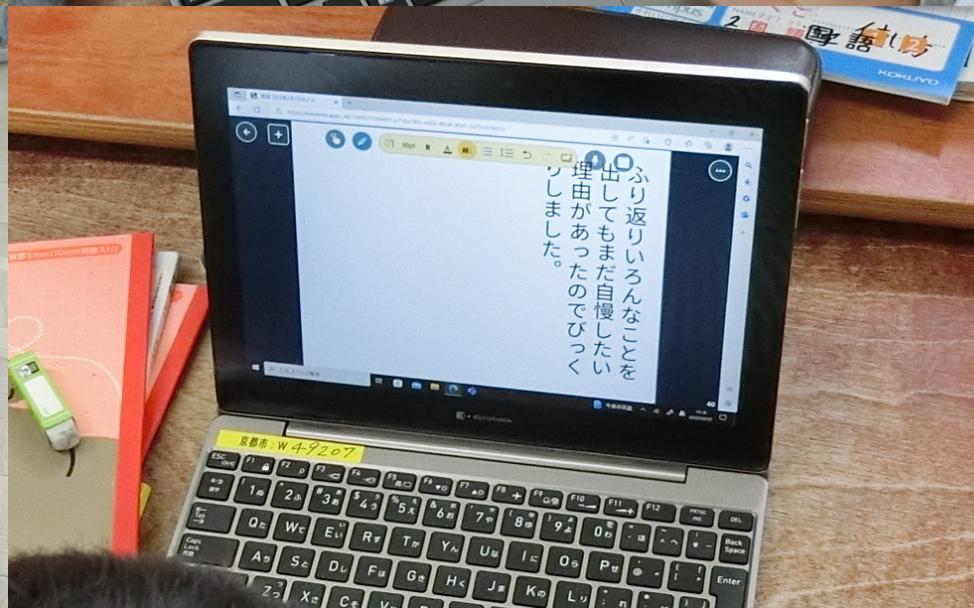
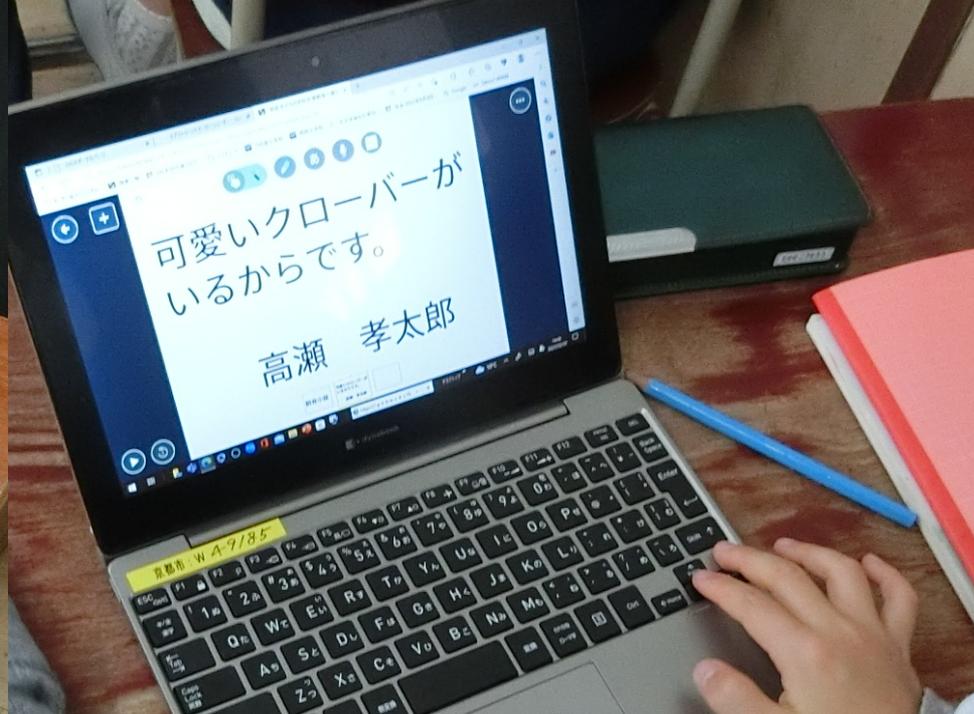
(第5時・第6時)

思考ツールにまとめられた情報から、発表原稿に再構成する。

情報活用能力の視点でふりかえりを行い、シンキングツールのよさを感じられるようにする。

単元の重点目標

◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるようにする。(思・判・表A(1)イ)



(3年) 思考ツールを使って、考えとそれを支える理由や事例を考える。

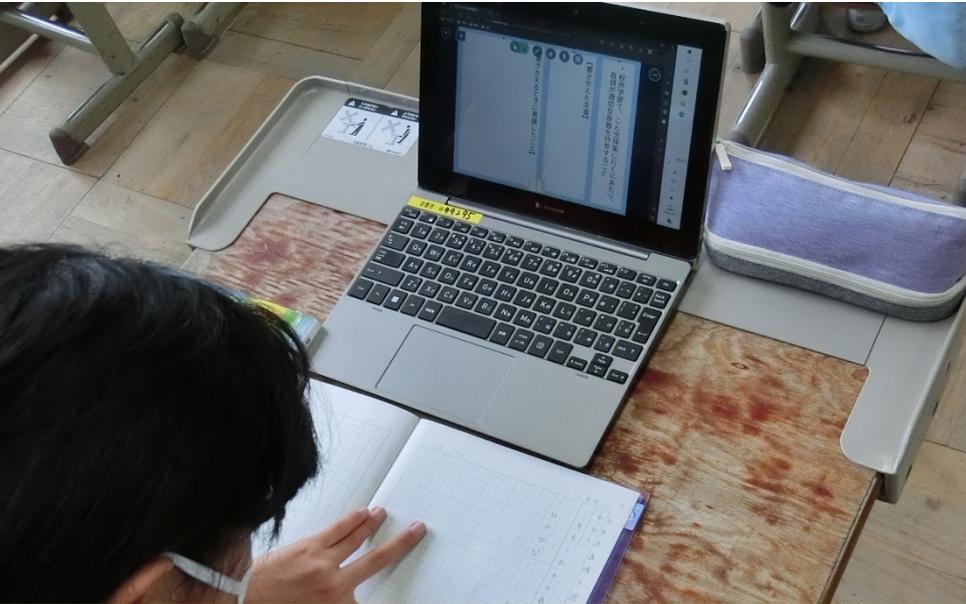
【5年】国語科
言葉について考えよう『伝わる表現を選ぼう』

主体的・対話的で深い学びを支えるGIGA端末活用

子どもたちが思考する場面では、ノートや付箋を使ったりGIGA端末を使ったりと、児童が学習に適した方法を選ぶ。

子どもたちが考えを交流したり共有したりする場面では、ロイロノートを活用する。

目的や意図に応じて、学習方法や学習道具を主体的に選べる力をつけていく。



(5年) 相手や目的、意図に応じて、表現を選べる力をつけていく。